



ワコウクリーンサービス株式会社

2024 年度環境経営レポート

(第 50 期)

<対象期間：2023 年 9 月～2024 年 8 月>

2024 年 10 月 27 日発行

目次

1. 環境経営方針
2. 会社概要
 - 登録事業者の概要
 - 当社主力サービスおよび主要取引先
3. 認証・登録の対象組織及び活動
 - 会社組織図
 - 役割権限表
4. 環境経営目標実績と環境経営計画実績
 - 中期環境経営目標
 - 50期の環境経営目標と実績
 - 環境経営計画実績
 - 評価
5. 主な環境負荷の実績
 - 50期環境負荷の実績
 - 評価
6. 次年度環境経営計画
7. 環境関連法規等
 - 遵守状況の確認及び評価の結果
 - 違反、訴訟等の有無
8. 取り組み紹介
9. 代表者による全体の評価と見直しの結果

1. 環境経営方針

基本理念

ワコウクリーンサービスは廃棄物の収集運搬、中間処理及び清掃の業務を通じて、私たちの暮らしの根幹を成す環境を後世に受け継ぐために、環境保全への取り組みを重要課題と認識し、全社員の知恵と工夫によって環境負荷の低減に努めます。

経営理念

安心して快適に暮らせる環境を未来へ受け継ぐ

- 一、かかわり合うことでお互いに成長します。
- 一、環境を通して生き活きとした地域を創造します。
- 一、人の繋がりを通して地球環境に貢献します。

環境経営方針

1. 環境活動を通して顧客満足度向上をはかり、日常業務と環境保全を一体のものとしします。
 - ・二酸化炭素排出量の削減に取り組みます。
 - ・分別促進、リサイクル推進による最終廃棄物割合を低減します。
 - ・事業活動に関わる水資源使用量を削減します。
 - ・使用化学物質の管理を適正に行います。
 - ・お客様への分別促進により自社を含めた環境意識の向上を図ります。
2. SDGs が掲げている目標実現のための活動に継続的に取り組みます。
3. 社会ニーズや地域社会に対応できる環境経営を継続的改善に努めます。
4. 環境関連法規制等、及びその他の同意する要求事項を守ります。

制定日：2017年9月30日

改定日：2020年6月18日

ワコウクリーンサービス株式会社

代表取締役
吉武恭介

2. 会社概要

組織概要

事業所名：ワコウクリーンサービス株式会社
代表者名：代表取締役 吉武恭介
本社：徳島県徳島市中前川町 5 丁目 1-254
論田事務所：徳島県徳島市論田町新開 66-71
中間処理工場：徳島県徳島市論田町新開 66-71
駐車場：徳島市助任町 5 丁目 2-45
HPURL：<http://wakou-cs.co.jp/>

環境管理責任者

環境管理責任者：総務部主任 吉武由理
担当者：高木一成
TEL：088-661-7788

事業規模

資本金：1,000 万円
売上高：21,518 万円 (2024 年 8 月期)
21,367 万円 (2023 年 8 月期)
21,070 万円 (2022 年 8 月期)
産業廃棄物収集運搬量：128.5t
産業廃棄物処理量：121.3t
一般廃棄物収集運搬量：3581.1 t
(50 期実績 2023 年 9 月～2024 年 8 月)

従業員数：24 名 (2023 年 7 月)
本社：50 m²
事務所：232 m²
助任駐車場：254.4 m²
論田中間処理工場：2,645 m² (積替保管施設なし)

事業年度

9 月～8 月 (1 年とする)

主要取引先

博愛記念病院様、鳴門センター街様、徳島通運株式会社様、徳島健生病院様
三井住友海上保険様、株式会社ふじや様、イオンディライト株式会社様



組織沿革

昭和 49 年 1 月 会社設立 資本金 100 万円
昭和 53 年 4 月 本店を徳島市春日町に移転、徳島市一般廃棄物処理業許可取得
昭和 56 年 1 月 本店を徳島市中前川町に移転
平成 4 年 3 月 産業廃棄物収集運搬業許可（徳島県）取得
平成 7 年 11 月 資本金を 1,000 万円に増資
平成 13 年 6 月 北島町一般廃棄物処分業許可取得
平成 17 年 3 月 松茂町一般廃棄物処分業許可取得
平成 18 年 4 月 藍住町一般廃棄物処理業許可取得
平成 19 年 4 月 産業廃棄物処分業許可（徳島県）取得
平成 19 年 4 月 産業廃棄物中間処理施設開設
平成 22 年 3 月 徳島県優良産業廃棄物処理業者第 2 区分認定
平成 30 年 8 月 エコアクション 21 認証取得
令和 2 年 3 月 産廃情報ネット登録
令和 2 年 7 月 事務所を徳島市論田町に移転
令和 5 年 9 月 N E X T 10 年ビジョン作成



事業内容

< 廃棄物処理業 >

一般廃棄物収集運搬業（徳島市、北島町、藍住町、松茂町）
産業廃棄物収集運搬業（徳島県）
産業廃棄物処理業（徳島県）

< 清掃業 >

ビル清掃管理、ハウスクリーニング



施設等の状況

< 破碎 > 最大 2.52t/日

廃棄物の種類：廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず（工作物の新築、改築又は除去に伴って生じたものを除く）及び陶磁器くず、（以上 6 種類、特別管理産業廃棄物及び自動車等破碎物であるものを除く）

< 圧縮 > 最大 1.92t/日

廃棄物の種類：廃プラスチック類、金属くず（以上 2 種類、特別管理産業廃棄物及び自動車等破碎物であるものを除く）

許可の内容

<一般廃棄物収集運搬業>

	許可番号	許可年月日及び許可の有効期限	事業の範囲
徳島市	第 114 号	令和 6 年 4 月 1 日 令和 8 年 3 月 31 日	徳島市全域
北島町	第 14 号	令和 6 年 4 月 1 日 令和 8 年 3 月 31 日	北島町全域
藍住町	第 7 号	令和 6 年 4 月 1 日 令和 8 年 3 月 31 日	藍住町全域
松茂町	第 8 号	令和 6 年 4 月 1 日 令和 8 年 3 月 31 日	松茂町全域

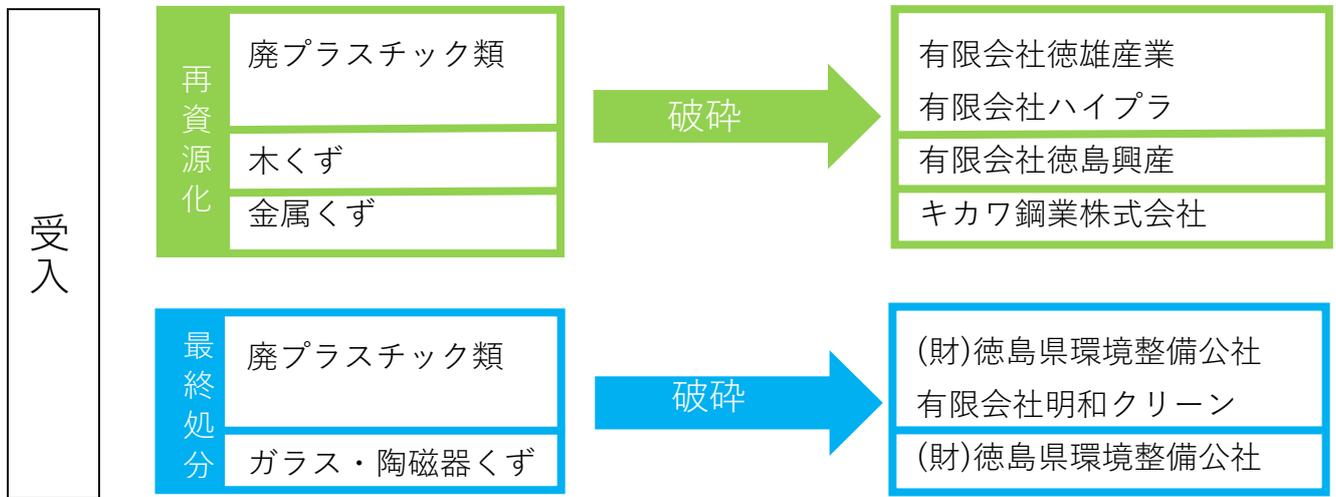
<徳島県産業廃棄物収集運搬業>

許可番号	3600046266
許可年月日及び許可の有効期限	令和 4 年 3 月 9 日 令和 9 年 3 月 8 日
積み替え保管	なし
許可品目	汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残さ、金属くず、ガラス・コンクリートくず（工作物の新築、改築又は除去に伴って生じたものを除く）及び陶磁器くず、がれき類（以上 12 種類特別管理産業廃棄物、自動車等破砕物、石綿含有産業廃棄物及び水銀含有ばいじん等であるものを除き、水銀使用製品産業廃棄物であるものを含む）

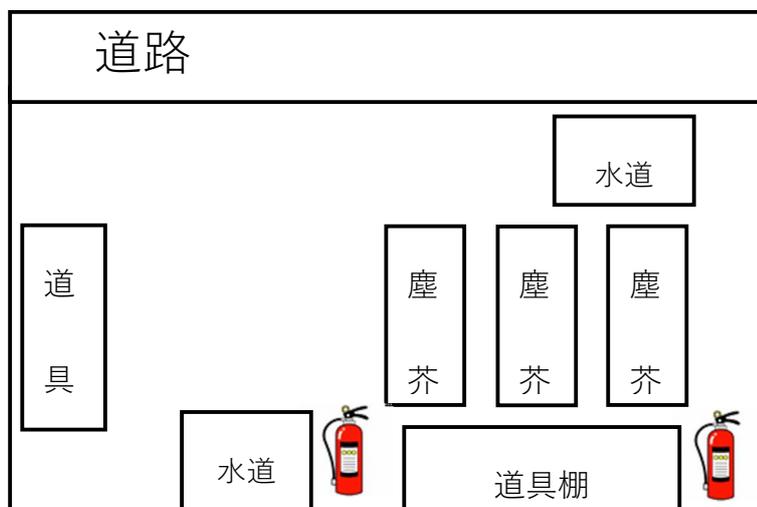
<徳島県産業廃棄物処分業>

許可番号	3620046266
許可年月日及び許可の有効期限	令和 4 年 7 月 4 日 令和 9 年 4 月 24 日
事業の範囲	中間処理
許可品目（破砕）	廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、金属くず、ガラス・コンクリートくず（工作物の新築、改築又は除去に伴って生じたものを除く）及び陶磁器くず（以上 6 種類、特別管理産業廃棄物及び自動車等破砕物であるものを除く）当該等産業廃棄物に石綿含有廃棄物を含まない。
圧縮	廃プラスチック類、金属くず（以上 2 種類、特別管理産業廃棄物及び自動車等破砕物であるものを除く）

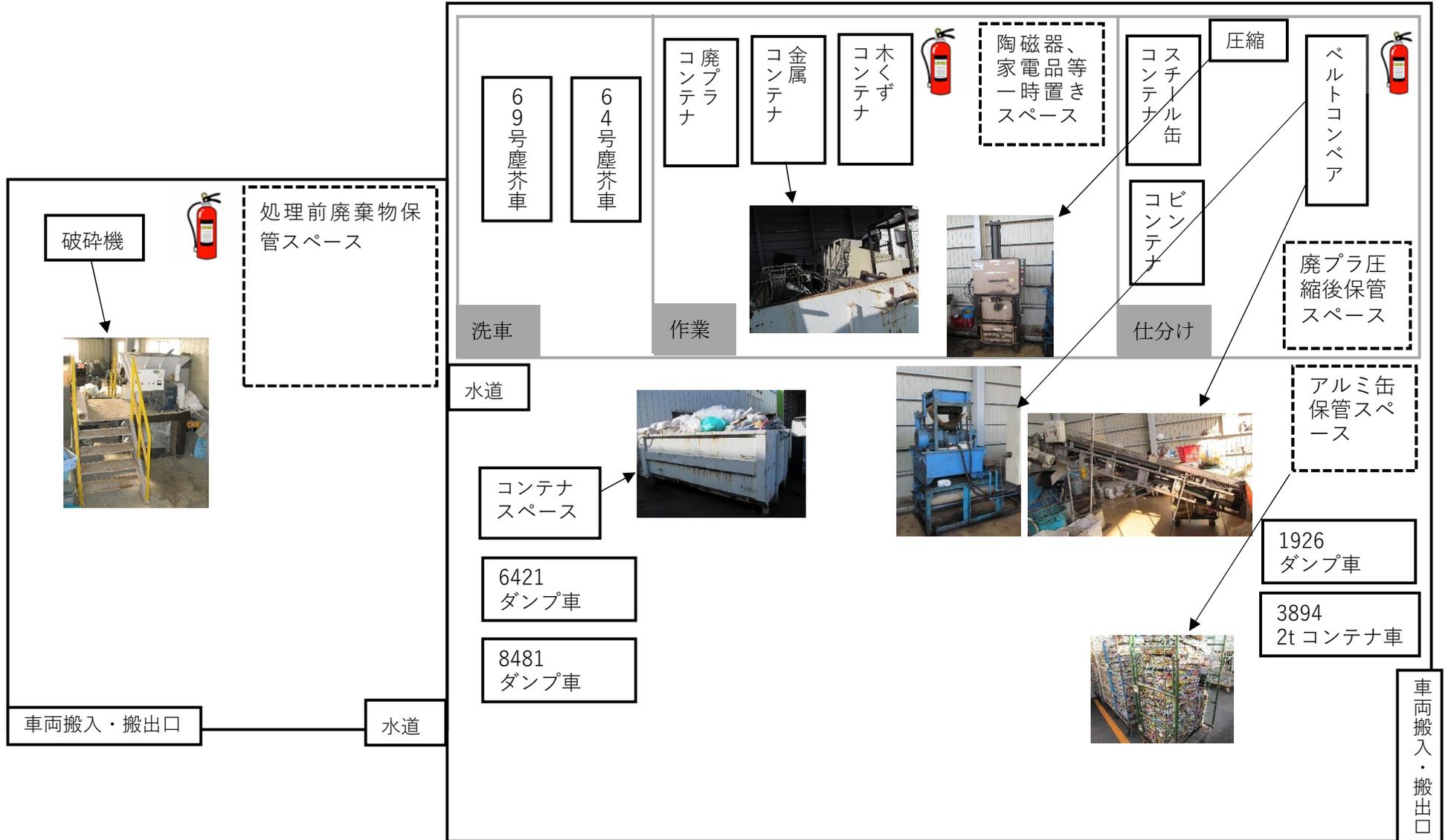
処理工程図



助任駐車場配置図



中間処理施設配置図



運搬車両の種類と台数



塵芥車（4t7台、3t1台、2t3台）
主に早朝のルート回収の車両で、市町のゴミ回収でもよく見かける車です。内部の回転板でゴミを巻き込み圧縮するため、多くのゴミを積むことができます。



2t ダンプ車（3t1台、2t2台）
スタンダードなダンプ車です。主に粗大ゴミの回収の際に使用します。



脱着式コンテナ車（4t2台、2t1台）
現場にコンテナを設置し、廃棄物を集積、運搬する車両です。飛散の可能性がある廃棄物は飛散防止のためホロ付きのコンテナを使用します。



4t クレーン付きユニック：1台
トラックに付いているクレーンを使用し、重量物を釣り上げて運搬する車両です。



軽トラック：1台
道が狭い際や、少量の廃棄物の運搬に使用する車両です。

廃棄物処理料金

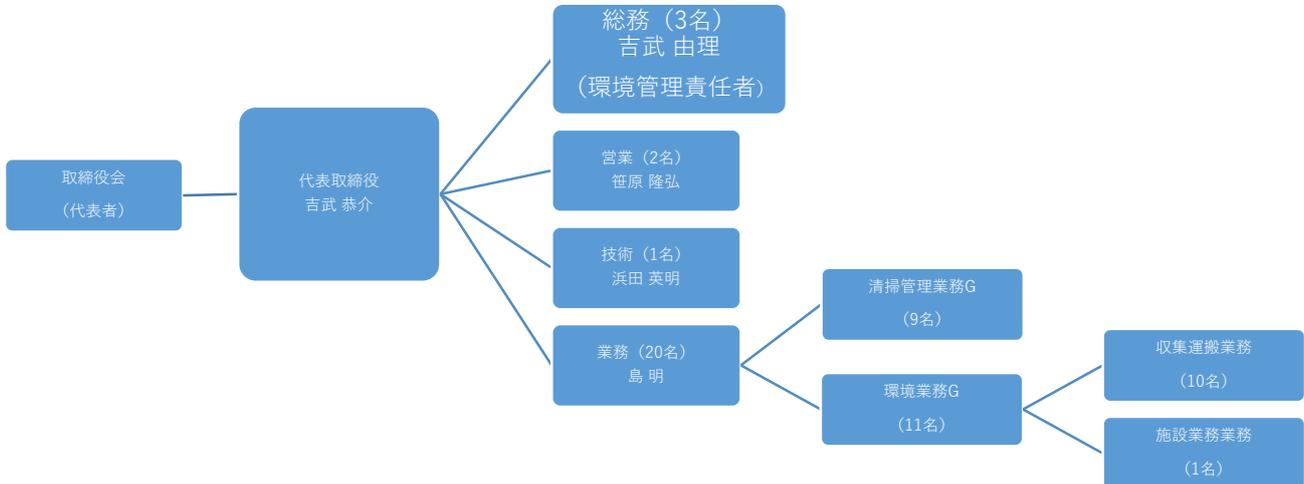
処理依頼の都度の見積りによる

車両の種類	台数
4t 塵芥車	7台
3t 塵芥車	1台
2t 塵芥車	3台
3t ダンプ車	1台
2t ダンプ車	2台
4t コンテナ車	2台
2t コンテナ車	1台
4t ユニック車	1台
軽トラック	1台

↑内平成27年度燃費基準達成車	
4t 塵芥車	5台
2t ダンプ	2台
脱着式2t コンテナ車	1台

3. 認証・登録の対象組織及び活動

会社組織図



※各部門に記載している者を責任者とする。

<役割責任権限表>

	役割・責任・権限
代表者（社長）	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営に関する統括責任・環境方針の策定 見直し及び全従業員へ周知 環境経営システムの実施に必要な設備、費用を準備 代表者による全体の評価と見直しを実施
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営システムの構築、実施、管理 環境経営目標、環境経営計画を設定 環境関連法規等の取りまとめ表の作成及び遵守評価 環境関連の外部コミュニケーションの窓口 環境関連業務の手順書作成・環境経営レポートの確認
	環境事務局 環境管理責任者の補佐
部門長	<ul style="list-style-type: none"> 自部門における環境経営システム、教育訓練の実施 自部門における環境経営方針の周知 自部門に関連する環境経営計画の実施及び達成状況の報告 自部門に関わる緊急事態への対応の試行、訓練を実施、記録の作成 自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 環境経営計画に基づき自主的・積極的に環境活動へ参加

認証・登録の対象組織

認証・登録事業者名：ワコウクリーンサービス株式会社
 対象事業所：本社、論田事務所、論田中間処理工場、駐車場
 当社の全組織・全活動を対象とします。

4. 環境経営目標実績と環境経営計画実績

中長期環境経営目標

		48期	49期	50期	51期
		2021年9月 ～2022年 8月	2022年9月 ～2023年 8月	2023年9月 ～2024年 8月	2024年9月 ～2025年 8月
48期の値を 基準値としています。		基準	目標	目標	目標
二酸化炭素排出量削減	kg-CO2/百万円	688.3	681.4	674.5	667.7
	基準値比		-1.0%	-2.0%	-3.0%
自動車の燃費向上 (収集運搬車含む)	k m/L	4.59	4.64	4.68	4.73
	基準年度比		+1.0%	+2.0%	+3.0%
	L/件	41.3	40.9	40.5	40.1
	基準値比		-1.0%	-2.0%	-3.0%
水使用量削減	m ³	150	148.5	147.0	145.5
	基準年度比		-1.0%	-2.0%	-3.0%
受託した産業廃棄物の 再資源化率向上	%	42.1	43.1	44.1	45.1
	基準年度比		+1.0%	+2.0%	+3.0%
一般廃棄物の再資源化 率向上 (自社排出分)	%	55.3	56.3	57.3	58.3
	基準年度比		+1.0%	+2.0%	+3.0%
個人スポット回収増加	件	409	420	430	440
	基準年度比		+2.7%	+5.1%	+7.6%

※1. 購入電力排出係数は令和2年度四国電 0.528kg-CO2/kwh



今期の目標と実績

		48期	50期			50期評価
		2020年9月 ～2021年 8月	2023年9月～2024年8月			
		基準	目標	実績	達成率	
二酸化炭素排出量削減	kg-CO2/百万円	688.3	674.5	694.1	97.1%	○
	基準値比		-2.0%	+0.9%		
自動車の燃費向上 (収集運搬車含む)	k m/L	4.59	4.68	4.74	101.3%	○
	基準年度比		+2.0%	+3.2%		
	L/件	41.3	40.5	50.4	80.3%	△
	基準値比		-2.0%	+18.1%		
水使用量削減	m ³	150.0	147.0	194.0	75.7%	×
	基準年度比		-2.0%	+22.7%		
受託した産業廃棄物の再 資源化率向上	%	42.1	44.1	71.3%	127.2%	◎
	基準年度比		+2.0%	+29.2%		
一般廃棄物の再資源化率 向上 (自社排出分)	%	55.3	57.3	55.0%	102.3%	○
	基準年度比		+2.0%	-0.3%		
個人のスポット回収増加	件	409	430	525	118.1%	◎
	基準値比		+5.1%	+22.1%		

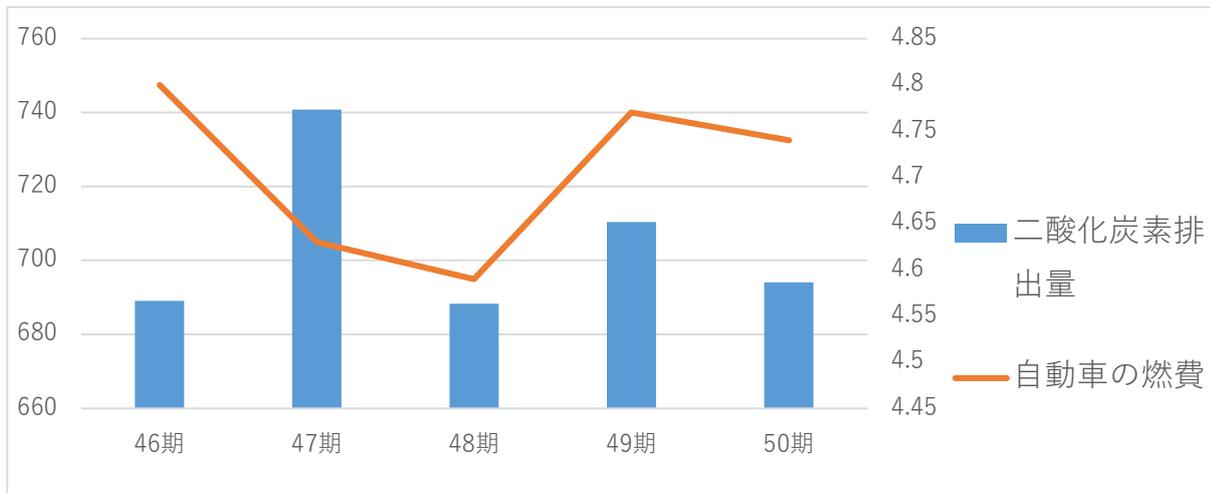
※1. 購入電力排出係数は令和2年度四国電 0.528kg-CO2/kwh

※2. 達成度が106%以上◎、95～105%○、80～94%△、79%以下×の評価としています。

項目別達成状況

EA21 認証登録より 5 年間の環境負荷の推移です。環境活動として 50 期二酸化炭素排出量と自動車の燃費、水使用量と売上を比較しました。経済活動として個人のスポット回収を棒グラフにし、徳島市の人口を折れ線グラフで比較しました。

二酸化炭素排出量 (kg-CO2/百万円)	50 期目標	実績
	674.5	694.1
自動車の燃費 (km/L)	50 期目標	実績
	4.68	4.74



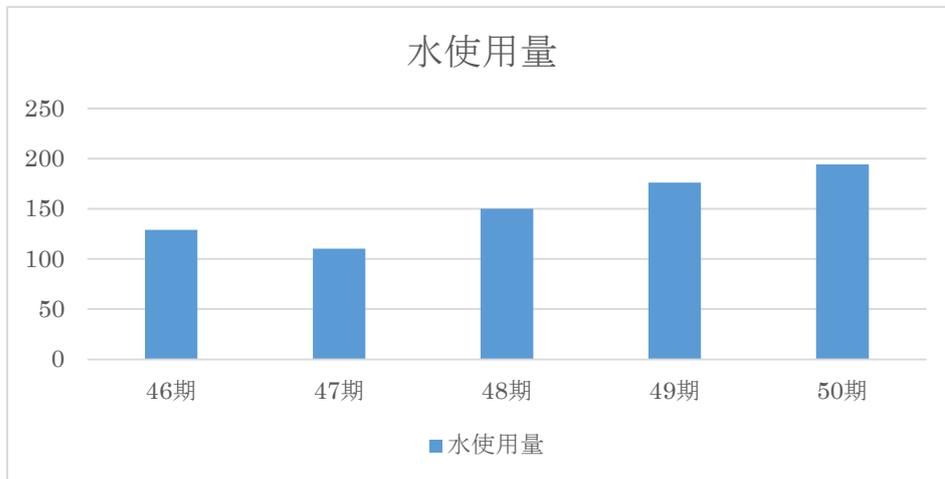
ルート回収取り忘れ件数

47 期	18 件
48 期	15 件
49 期	12 件
50 期	16 件

結果と次年度の取り組み

二酸化炭素排出量、自動車の燃費ともに横ばいの数値となりました。
 毎年 10 件以上ルート回収取り忘れが発生しています。
 改善を行い、二酸化炭素排出量削減、燃費向上に努めます。

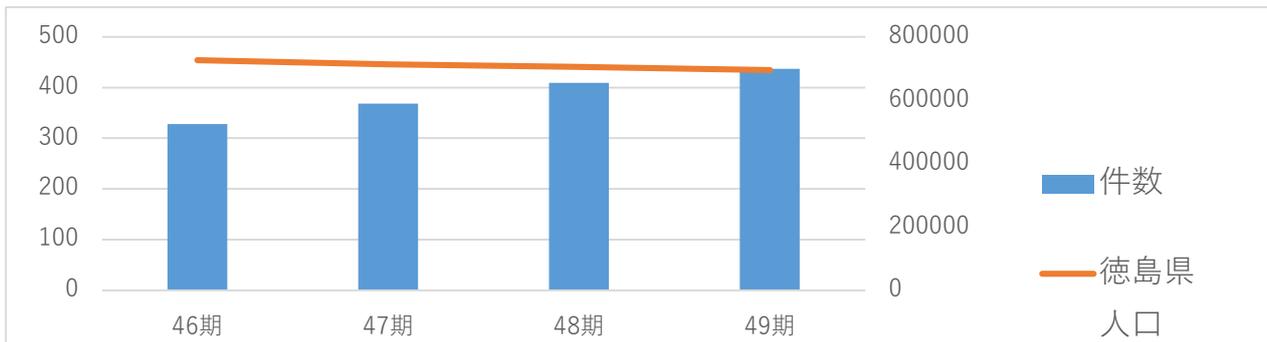
水道使用量 (m ³)	 	50期目標	実績
		147	176



結果と次年度の取り組み

事務所移転（48期）から水道使用量が増えています。
 コンテナ仕事の増加、美装仕事の増加が要因と考えられます。
 節水用機器導入、従業員に節水の呼びかけを行い、水使用量削減に取り組んでいきます。

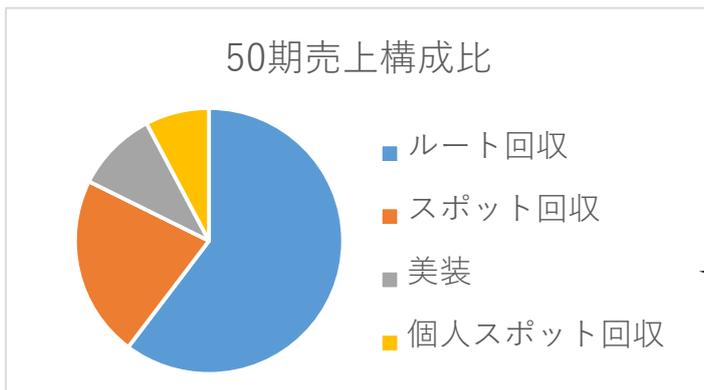
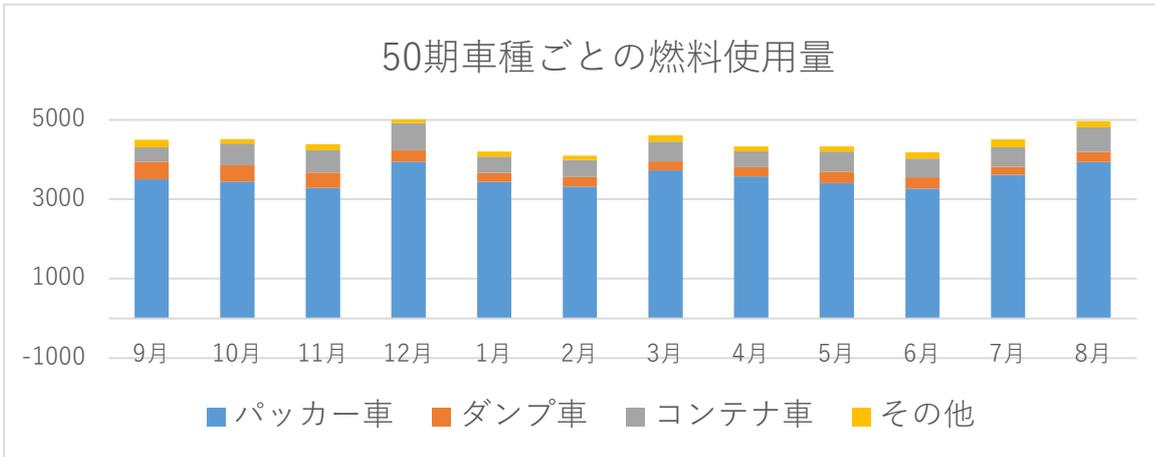
個人のスポット回収	 	50期目標	実績
		430件	525件



結果と次年度の取り組み

徳島県の人口は減少傾向ですが、個人のお客様からの依頼は増えています。今後も依頼増加のために、アンケート→ヒアリングを行い、地域住民とコミュニケーションをとりながら経済活動を推進していきます。

車種ごとの燃料使用量と売上構成比、



パッカー車の燃費使用率が約7割

ルート回収の売上が約6割

環境経営計画と実績

環境経営目標	取組計画	評価	総合評価
二酸化炭素排出量削減	空調の適温化（冷房 28°C、暖房 20°C）	○	
	クールビズ、ウォームビズの実施	◎	
	照明の不要時消灯	◎	
	中間処理作業の効率化	○	
自動車の燃費向上 （収集運搬車含む）	エコドライブの実施	○	
	車両の日常点検	◎	
	適切なルート選択	◎	
	ヒヤリハットの共有	○	
水使用量削減	洗い物はまとめて行う	◎	
	洗車時に節水を心がける	○	
	点検時に水漏れを確認する	○	
受託した産業廃棄物の 再資源化率向上	論田工場での分別作業の徹底	◎	
	新規業者受入前の処理先確認	◎	
	中間処理施設の廃棄物状況の確認	○	
一般廃棄物の再資源化 率向上（自社排出分）	用紙から電子データ化に移行	○	
	分別ボックスの設置、再利用	◎	
個人スポット回収増加	お客様の問合せに迅速に対応	◎	
	回収時に追加サービスを提案	◎	
受託した産業廃棄物処分への環境配慮及びサービスの改善	排出者へ分別協力依頼	△	
化学物質の適正管理	適正場所に保管	◎	
	漏洩防止	◎	

<評価>

今期は取り組み開始から7年目です。

今期の結果としては7項目中3項目の目標が未達成となりました。

産業廃棄物（コンテナ）仕事の増加、美装仕事増加の影響で水使用量が多くなっています。節水用機器導入、従業員に節水の呼びかけを行い、水使用量削減に取り組んでいきます。

ルート回収の取り忘れが16件発生しています。

取り忘れにより、回収が二度手間になってしまい、燃費低下や二酸化炭素排出量増加につながります。ルート表の改善（チェックできるように）を行い、取り忘れをなくしていきます。

個人スポット回収数が年々増加しています。新規のお客様だけでなく、リピーターも増やしながら、引き続き個人スポット回収の件数増加に取り組んでいきます。

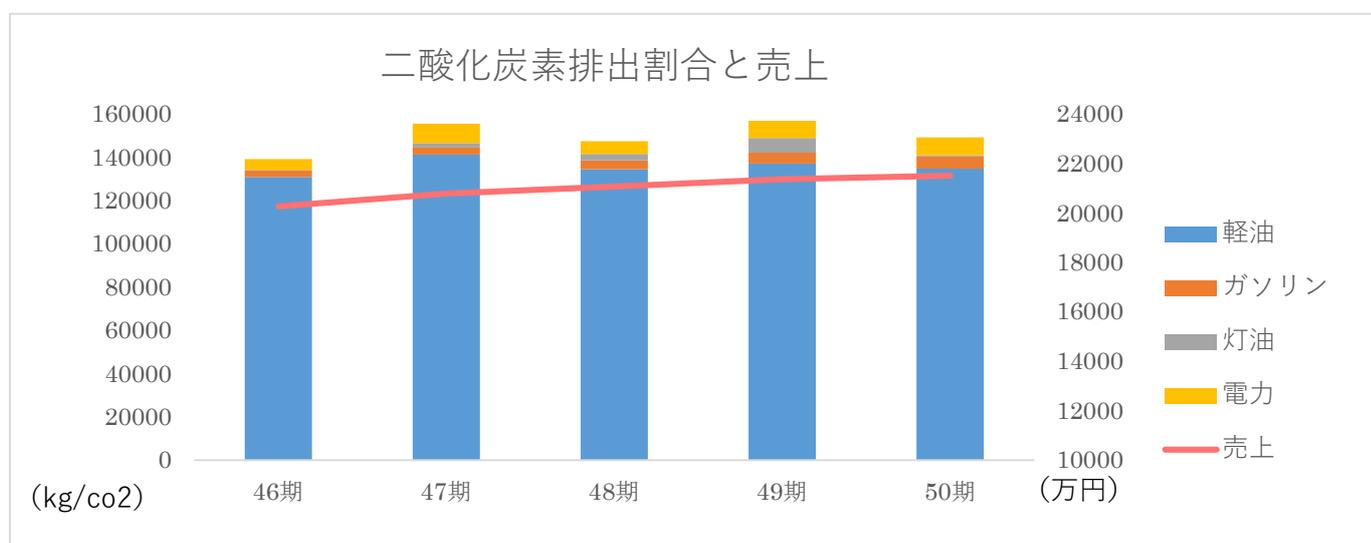
5.主な環境負荷の実績

5年間の環境負荷の実績

項目	単位	46期	47期	48期	49期	50期
二酸化炭素排出量	kg-CO2	139,922	154,620	145,224	151,319	149,222
→電力使用量	kWh	10,871	19,314	11,527	19,853	15,530
→ガソリン使用量	L	1,278	1,408	1,768	2,221	2,420
→軽油使用量	L	50,757	53,896	52,109	52,329	52,225
→灯油使用量	L	106	845	239	271	268
受託収集運搬量（一廃、産廃）	t	3,937.5	3,891.9	3,772.8	3,735.5	3,709.6
受託した産廃の中間処理量	t	162.5	289.1	195.01	193.01	128.5
一般廃棄物排出量（自社分）	kg	540	280	450	450	470
水使用量	m ³	129	110	150	176	194
売上	万円	20,268	20,788	21,070	21,367	21,518

45期以前：購入電力排出係数は平成27年度四国電 0.651kg-CO2/kwh

46期以降：購入電力排出係数は令和2年度四国電 0.528kg-CO2/kwh



<評価>

二酸化炭素排出量の約9割が軽油です。

ルート回収件数の増加、遠方での作業の増加により軽油使用量増加が予想されます。

今後もパッカー車使用時に廃棄物の量に応じて押し出し回転数を調整し、燃料使用量削減を行います。エコ運転、中間処理作業の効率化に取り組み、環境保全との両立を目指していきます。

今期月別の環境負荷の実績

	9月	10月	11月	12月	1月	2月
電力 (kWh)	1376	934	1244	1602	1632	1602
ガソリン (L)	244	181	202	222	206	180
軽油 (L)	4536	4197	4227	4589	4109	4046
灯油 (L)			54	52	54	54
水使用量 (m ³)	15	15	15	15	16	16
受託した産廃の再資源化率	72.0%	83.2%	51.9%	94.4%	89.4%	47.7%
自社排出一廃の再資源化率	45.2%	56.8%	61.8%	35.9%	52.8%	56.7%
評価	電気の削減○ 燃料の削減△ 水の削減△ 産廃◎ 一廃△	電気の削減◎ 燃料の削減○ 水の削減△ 産廃◎ 一廃○	電気の削減○ 燃料の削減△ 水の削減△ 産廃△ 一廃○	電気の削減△ 燃料の削減△ 水の削減△ 産廃◎ 一廃×	電気の削減△ 燃料の削減△ 水の削減△ 産廃◎ 一廃○	電気の削減△ 燃料の削減○ 水の削減△ 産廃△ 一廃○
備考	10年ビジョン会議を行いました。	新人研修を行いました。 	方針発表会で来期の目標とEA21の取り組みを確認しました。	事務所の大掃除を行いました。火災訓練を行いました。	ドライブシュミレーターを使用し、運転適性審査を行いました。	シャハルさん（ITコンサルタント）と打合せを行い、システム修正を行いました。

今期の主な環境負荷の実績

	3月	4月	5月	6月	7月	8月
電力 (kWh)	1422	1207	1094	352	1136	1929
ガソリン (L)	176	187	297	118	188	219
軽油 (L)	4059	4147	4405	4261	5067	4582
灯油 (L)	54					
水使用量 (m ³)	16.5	16.5	17	17	17.5	17.5
受託した産廃の再資源化率	92.4%	95.7%	53.8%	56.1%	88.0%	55.1%
自社排出一廃の再資源化率	59.5%	46.4%	47.5%	56.8%	61.5%	70.4%
評価	電気の削減△ 燃料の削減○ 水の削減△ 産廃◎ 一廃◎	電気の削減○ 燃料の削減○ 水の削減△ 産廃◎ 一廃△	電気の削減◎ 燃料の削減△ 水の削減△ 産廃△ 一廃△	電気の削減◎ 燃料の削減△ 水の削減△ 産廃△ 一廃○	電気の削減◎ 燃料の削減× 水の削減× 産廃◎ 一廃◎	電気の削減× 燃料の削減△ 水の削減× 産廃△ 一廃◎
備考	引っ越しシーズンのため、粗大ゴミ回収が一番多い月となりました。	N I コラボ操作研修を行いました。 	倉庫の片づけ、整理を行いました。	穴吹カレッジの生徒さんが企画チームの会議を見学しました。	店舗工事のため、コンテナ交換の仕事が多くなりました。	缶ビンペットボトルが多く排出されるようになり、回収に伴って洗車回数が増えました。

6. 次年度環境経営計画

環境経営目標	取組計画	
二酸化炭素排出量削減	空調の適温化(冷房 28°C、暖房 20°C)	事務所 2 階の電気と空調の消し忘れに注意する。
	クールビズ、ウォームビズの実施	
	照明の不要時消灯	
	空調使用後の停止	
	中間処理作業の効率化	
自動車の燃費向上 (収集運搬車含む)	エコドライブの実施	ゴミ投棄場の待ち時間や事務所への報告時間などの時はエンジンを停止し、アイドリングを減らします。
	車両の日常点検	
	適切なルート選択	
	アイドリングを減らす	朝会で共有するほか、ヒヤリハットがあった時はドライブレコーダーで確認する
	ヒヤリハットの共有	
※上記は二酸化炭素排出量削減の実施事項でもある		
水使用量削減	水道使用後は水を止める	手洗いの機会が増えたため、水道使用後の閉め忘れに注意する
	洗車時に節水を心がける	
	点検時に水漏れを確認する	
受託した産業廃棄物の再資源化率向上	新規業者受入前の処理先確認	コンテナ回収の産業廃棄物は 1 か月以内に分別する
	中間処理施設の廃棄物状況の確認	
一般廃棄物の再資源化率向上(自社排出分)	用紙から電子データ化に移行	昨年同様、本社社員で取り組む
	分別ボックスを設置、再利用	
以下経営計画のみ		
受託した廃棄物処分への環境配慮及びサービスの改善	排出者へ分別の協力依頼	昨年同様、全社員で取り組む
化学物質の適正管理	適正場所に保管	事務所に納品された洗剤はすぐに置き場に運ぶ
	漏洩防止	

<環境コミュニケーションの実施>

ウェブ上：ホームページで環境経営レポートの公表、他業者とのウェブ会議

地域：徳島県産業資源循環協会主催のゴミ拾いに参加

社内：環境経営方針等の社内掲示、月 1 回朝会でヒヤリハットの共有

半年に 1 回のドライバーミーティングで車両整備の再確認、エコドライブの推進

年 1 回の経営方針発表会でエコアクションの取組状況を確認

7. 環境関連法規

廃棄物処理法	許可の確認と更新 産業廃棄物収集運搬車に掲示板：60cm×60cm 以上の表示 受託した廃棄物の飛散・浸透防止 マニフェストの交付、期日までの返却 産業廃棄物管理票交付等状況報告書の提出			
騒音規制法	特定施設の事前届出 地域別騒音基準の順守（三種区域） ・65 d b（昼間：午前7時～午後7時） ・60 d b（朝：午前5時～午前7時） ・60 d b（夕：午後7時～午後10時） ・55 d b（夜間：午後10時～翌朝5時）			
浄化槽法	保守点検の実地、清掃の実地（1回/年） 法定検査の受検（1回/年）			
下水道法	公共下水道管理者にあらかじめ届け出			
徳島市下水道条例	下水道使用料の納付			
フロン排出抑制法	フロン類の登録充填回収業者への適切な引き渡し フロン類回収時の委託確認書交付と引取証明書の保存（3年間） 第1種特定製品の簡易点検（1回以上/3ヶ月）廃棄後3年間記録保存 フロン類算定漏洩量の報告（漏洩量 1000t-CO2 以上）			
消防法	指定可燃物の貯蔵・取扱の届出 防火対象物及び消火器設置、点検（1回以上/6か月）			
	防火対象	消火器設置基準	当社施設	設置義務
	中間処理施設	延べ面積 150 m ² 以上	826 m ²	5本
	助任駐車場	延べ面積 150 m ² 以上	266 m ²	2本
	事務所	延べ面積 300 m ² 以上	232 m ²	なし
本社	延べ面積 300 m ² 以上	50 m ²	なし	
家電リサイクル法	特定の家電製品の引渡し、リサイクル料金の支払い			
自動車リサイクル法	使用済自動車の引取業者への引渡し、リサイクル料金の支払い			
脱炭素社会の実現に向けた気候変動対策推進条例	環境マネジメントシステムの導入及び推進 温室効果ガス排出量の削減に努める			

遵守状況

環境関連法規等の遵守評価（令和5年9月5日）の結果、
環境関連法規は遵守されていました。

なお、関係当局よりの違反等の指摘は過去3年間ありませんでした。



8. 取り組み紹介

安全運転研修・運転適性診断

ヒヤリハット(危険を感じた瞬間)が発生すると、朝会で発表したりドライブレコーダーで実際の映像を見たりして共有します。自分が運転しているとすればどう対応するか、危険の兆候はなかったかなどの意見を出し合い、事故防止に役立てています。

また車両の点検を行った際、小さなトラブルでもすぐ報告をしています。小さなトラブルを放置しておくとは大掛かりな修理が必要になる可能性があるためです。小さな車両メンテナンスにより燃費向上や車両トラブルでの事故防止につながっています。



年1回の運転適性診断テスト

車両の設備

みまもりくん(車両の走行距離、燃費、COの排出量、ドライバーの運転操作情報などの運行データを収集する運行管理システム)を車両11台に設置、ドライブレコーダーを車両22台に設置しています。車両の位置情報を把握し、回収時間帯の確認、配車組みを行っています。



安全運転賞の表彰

年1回の方針発表会では1年以上無事故のドライバーに表彰を行っています。事故をしない運転はエコドライブにつながっています。



- 2023年安全運転1年3名
- 安全運転3年1名
- 安全運転5年2名
- 2024年安全運転1年4名
- 安全運転3年3名
- 安全運転5年1名

創立50年を迎え、『第50期 経営方針発表会』を行いました。



強アルカリ電解水生成器

ハウスクリーニングやオフィス清掃、イベントトラック清掃にアルカリイオン電解水を使用しています。精製したものは pH12.5 のため、通常は希釈して使用します。

POINT 1 洗剤・薬剤ゼロ

電解水は次亜塩素酸や界面活性剤などを使用していない純度 99.9% の水です。洗浄のほか除菌も行えます。

POINT 2 節水・コスト削減

界面活性剤を使用していないため泡が発生せず、洗浄と同時にすすぎができ二度拭きの必要がありません。そのため節水・作業時間短縮につながり、コスト削減効果が期待できます。

POINT 3 体・環境に優しい

時間とともに中性に戻るため無害性が高く、洗剤成分の残留がないため汚れの再付着を防ぐことができます。また電解質の溶解はわずか 0.1% のため触っても刺激がなく肌荒れの心配もありません。



<取引先への協力呼びかけ>

ルート回収の際、定期回収分以外のごみがある・分別ができていない・ごみ庫の中が汚いなどといったことがあります。そんな時ドライバーはごみを写真で報告をしています。写真で報告することにより、現地確認に行く必要があるかどうか判断しやすくなり、燃料と時間の短縮になっています。また新規取引の際は分別表を手渡し、改めて分別方法を確認してもらっています。



↑ 定期外廃棄物報告写真

店舗の形態、排出市町に→
合わせた分別表

ごみの分け方(下記のように分類して頂きますようお願いいたします。)

ワコウクリーンサービス株式会社

	既やせるごみ	既やせないごみ				紙類
		ビニール・プラスチック類	金属類、缶・ビン類	燃やせる	燃やせない	
物	 生ごみ 紙くず (可燃でいいもの)	 プラスチック容器類 ラップ、ビニール類 発泡スチロール	 食品用缶類の缶、缶入りの缶 飲料用、食品用ビン 飲料用ペットボトル	 燃やせる ガラス類(化粧箱など)、コップ等 (燃やせないの一時置き場は別途)	 燃やせない ライター、チャッカマンなど スプレー缶 (燃やせないで燃やせる物を入れてはいけません)	 タンボール 雑紙類 新聞
ごみ袋	 燃やせるごみ袋に入れてください 燃やせるごみに入れます	 燃やせるごみ袋に入れてください 燃やせるごみに入れます	 燃やせるごみ袋に入れてください 燃やせるごみに入れます	 燃やせるごみ袋に入れてください 燃やせるごみに入れます	 燃やせるごみ袋に入れてください 燃やせるごみに入れます ※燃やせないごみ袋に入れてはいけません。燃やせるごみ袋に入れてください。	

・粗大ごみや退去時の一時多量ごみが出る際はご連絡ください。

TEL(086)626-2639 ワコウクリーンサービス(株)

緊急事態発生訓練

12月に火災発生訓練を実地しました。工場火災につながる廃棄物の確認も併せて行いました。

9. 代表者による全体の評価と見直しの結果

代表者：吉武恭介

見直し実施日：2024年9月29日

見直し項目：環境経営方針（変更無）

：環境経営目標・環境経営計画

（環境経営目標基準年変更、経営計画達成手段追加）

：実施体制・システム（変更無）

環境経営目標の達成状況

目標項目	目標値 達成状況	経営計画 実施状況	環境経営目標と経営計画に 対するコメント
二酸化炭素排出量削減	○	○	取り組みを継続する
自動車の燃費向上（km/L）	○	○	取り組みを継続する
自動車の燃費向上（L/件）	△	○	
水使用量削減	×	×	取り組みを継続する
受託した産廃の再資源化	◎	◎	取り組みを継続する
自社の廃棄物の再資源化	○	◎	取り組みを継続する
個人スポット回収増加	◎	○	取り組みを継続する

※目標達成度が106%以上◎、95～105%○、80～94%△、79以下×

周囲の変化の状況

燃料費、人件費の上昇に伴い、個人スポット回収の価格改定を行いました。

またルート回収の値上げも引き続き、行っていく。

代表者指示事項

- ・ 事務所内の節電、節水意識を高めましょう。
- ・ 車間距離2秒ルールを徹底し、車間距離を空けましょう。
- ・ 二酸化炭素排出削減、燃費向上を目標として、回収ルートリフレッシュを進めましょう。

